

# 製品安全データシート

## 製造者情報

会社名 : 株式会社 和光ケミカル  
 住所 : 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1  
 担当部門 : 技術部 担当者 : 田村 茂  
 電話番号 : 0465-48-8114 FAX 番号 : 0465-49-1951  
 緊急連絡先 : 技術部 電話番号 : 0465-48-8114  
 作成日 1995年6月27日 (2004年10月1日 改定第7版)

製品名(化学名、商品名等) ブレーキ&パーツクリーナー BC-SJ (品番:A184)  
 株式会社クボタ品番:07908-56040

物質の特定 単一・混合物の区別 : 混合物  
 一般用途 : スプレー式脱脂洗浄剤  
 成分及び含有量 :

化合物名	CAS-No.	労働安全衛生法	PRTR 法	含有量 (%)
シクロヘキサン	110-82-7	通知対象物	非該当	70~80
ヘキサン (n-ヘキサンを除く 全異性体)	96-14-0 107-83-5 75-83-2 79-29-8	通知対象物	非該当	10~20
エタノール	64-17-5	通知対象物	非該当	5~15
2-プロパノール	67-63-0	通知対象物	非該当	1~10
二酸化炭素	124-38-9	非該当	非該当	噴射剤
LPG		非該当	非該当	噴射剤

官報表示整理番号 : (化審法、安衛法) 必要あるものは登録済み  
 国連分類 : クラス 2.1 (可燃性エアゾール) (原液はクラス 3.1)、  
 国連番号 : 1950

危険・有害性の分類 分類の名称 : 引火性液体、その他の有害性物質  
 危険性 火災・爆発性 : 引火性を有する液体であり、蒸気は容易に発火する。液体は非常に速やかに蒸発する。蒸気は空気より重く、地表に沿って這うように動く。発火の際、遠い距離をバックファイアすることがある。  
 有害性 : 蒸気は目、鼻、喉を刺激する。高濃度の蒸気を吸入すると麻酔作用があり、心臓律動障害をおこしうる。  
 : 液体に触れると目や皮膚を刺激する。  
 環境影響 : 水生生物に対する毒性: 有毒 (特別なデータはない)

応急処置 目に入った場合 : 直ちに清水で 15 分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。  
 皮膚に付着した場合 : 付着した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じたときは医師の手当てを受ける。  
 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行ない、呼吸困難な場合には酸素吸入を行なう。  
 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合は、多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。

火災の処置 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れのないよう水ホースで周囲の建物等の冷却をする。消火作業は風上から行ない、場合によっては呼吸保護具を着用する。  
 消火剤 : 粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡が有効である。

漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル）等を着用する。</li> <li>: 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。</li> <li>: 付近の着火源、高温体及び可燃物を取り除く。</li> <li>: 流出物は、火花が発生しないように、プラスチック製等の用具を用いて密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</li> <li>: 単独での回収が困難な場合は、乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。</li> <li>: 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする事。</li> <li>: 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。</li> </ul>
--------	---

取扱い及び 保管上の注意	取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 換気の良い場所で取り扱う。</li> <li>: 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</li> <li>: 静電気対策を行ない、作業衣、作業靴は導電製のものを着る。この物質は静電気帯電する傾向があるので注意する。</li> <li>: 吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。</li> <li>: 換気の悪い場所での作業時には、十分な局所廃棄装置を付け、適切な保護具を付けて作業する事。</li> </ul>
	保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 容器は直射日光を避け、通風の良い暗所に保管する。</li> <li>: 火気、熱源から遠ざけて保管する。</li> <li>: 酸化性物質、有機過酸化物質など同一場所に置かない。</li> </ul>

#### 暴露防止措置

化合物名	CAS-No.	管理濃度	ACGIH TLVs		日本産業衛生学会 TLV
			TWA	STEL	
シクロヘキサン	110-82-7		200ppm (688mg/m <sup>3</sup> )	400ppm (1377mg/m <sup>3</sup> )	150ppm (520mg/m <sup>3</sup> )
ヘキサン (n-ヘキサンを除く 全異性体)	96-14-0 107-83-5 75-83-2 79-29-8		500 ppm (1760 mg/m <sup>3</sup> )	1000 ppm (3500 mg/m <sup>3</sup> )	
エタノール	64-17-5		1000 ppm (1880 mg/m <sup>3</sup> )		
2-プロパノール	67-63-0	400 ppm	200 ppm (491 mg/m <sup>3</sup> )	400 ppm (984 mg/m <sup>3</sup> )	400 ppm (980 mg/m <sup>3</sup> )
二酸化炭素	124-38-9		5000 ppm (9000 mg/m <sup>3</sup> )	30000 ppm (54000 mg/m <sup>3</sup> )	

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。</li> <li>: 取り扱い場所の近くには、高温体や発火源となるものが置かれないような設備とする。</li> </ul>
保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 状況に応じ、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。</li> </ul>

物理/化学的性質	外観等 : 無色透明で僅かにアルコール臭 沸点及び範囲 : 61 ~ 82 蒸気圧 : 未測定 揮発性 : あり 融点 : -20 比重 : 0.772 (15 ) 初溜点 : 59 溶解度 水 : わずかに溶解 その他 : なし
危険性情報	引火点 : -20 発火点 : 250 爆発範囲 : 1.2% ~ 8.0% 安定性・反応性 : 安定性がよく、経時変化、化学変化をおこしにくい。
有害性情報	急性毒性 : エタノール LD50 = 7060 mg/kg (ラット経口) 2-プロパノール LD50 = 5840 mg/kg (ラット経口) ヘキサン(n-ヘキサンを除く全異性体) LD50 > 20000 mg/kg (ラット経口) シクロヘキサン LD50 > 20000 mg/kg (ラット経口) 慢性毒性 : データなし 刺激性 : データなし 癌原生 : データなし 変異原性 : データなし 生殖毒性 : データなし 中毒症状 : 頭痛、めまい、衰弱、吐き気、興奮状態、意識喪失
環境影響情報	分解性 : データなし 魚毒性 : 水生生物に有毒 その他 : 炭化水素を主成分としており、高い地球温暖化能を有する。
廃棄上の注意	: 廃棄は焼却により行う。 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。 少量の場合はケイソウ土等に吸着させて開放型の焼却炉で焼却する。 : 容器を廃棄する場合、缶に穴を開け中のガスを完全に抜いてから処分する。
輸送上の注意	航空法 : 航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示の「エアゾール」の基準に基づいて搭載する。 船舶安全法 : 船舶による危険物の運送基準等を定める告示の「エアゾール」の基準に基づいて搭載する。 道路交通法 : 運搬容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。 第一類及び第六類の危険物との混載禁止。 : その他関係法令の定めるところに従う。

---

適用法令	化審法及び労安法の既存化学物質名簿への登録
労働安全衛生法	: 通知対象物を含有する <ul style="list-style-type: none"><li>・シクロヘキサン</li><li>・ヘキサン (n-ヘキサンを除く全異性体)</li><li>・エタノール</li><li>・2-プロパノール</li><li>・二酸化炭素</li></ul>
PRTR 法	: 非該当
消防法	: 危険物第 4 類第 1 石油類 (非水溶性液体)
毒物及び劇物取締法	: 指定成分を含有せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 引火性液体類、中引火点引火性液体
海洋汚染防止法	: D 類物質
航空法	: 施行規則第 194 条告示別表第 3 引火性液体 G-等級 2

---